

■日程：2024年5月29日（水）～6月1日（土）

■ボランティア参加者数：13名

■サロン実施場所および被災者の参加者数

日時	サロン実施場所	被災者の参加者数
5月30日（木）	穴水町諸橋地区 諸橋公民館	14名
5月30日（木）	穴水町甲地区 兜公民館	38名
5月30日（木）	輪島市町野地区 金蔵集会所	15名
5月31日（金）	輪島市門前地区 禅の里交流館	57名
5月31日（金）	輪島市門前地区 皆月多目的集会施設	42名
5月31日（金）	輪島市門前地区 浦上公民館	32名

■被災者の声（主なもの）

- ・仮設住宅で一人暮らし。部屋は段差がなくてよい。足もとが寒いので畳をもらって床に置いている。
- ・以前は宇出津までのバスがあったが、今は1本もなくて不便。車もないのでとても困っている。今日は移動売店が来て魚が買えたが、以前のように買い物ができない。
- ・震度1の地震でも続くと家が少しづつ歪んでいる。開いてた扉が震災後に徐々に開かなくなっている。
- ・オクラを作っているが収穫のタイミングで、カラスやタヌキにとられてしまう。
- ・金蔵のお米は山間地でストレスが少ないのでおいしいよ。
- ・6人家族で2DKの仮設住宅に住んでいて息が詰まりそう。サロンに来ると息抜きになる。
- ・地域の方たちが避難してバラバラだったけど、仮設住宅でまた一緒になれて嬉しい。私を含めて仮設住宅がなければ戻ってこなかった人もたくさんいると思う。
- ・近所の方が仮設住宅に移動した為、人がいなくなって寂しい。私も入りたいが入居条件に合わず半壊の家に住み続けている。サロンで皆に会って話しができてとても楽しい。
- ・お父さんとサロンにきたかったが、震災後あまり外に出たがらない。ずっと寝ていて心配。
- ・6月に仮設店舗で床屋を再開する予定が伸びてしまい気落ちしていたが、お客さんからお店を楽しみにしているという声を沢山もらって、10月再開を信じて体力づくりのために1時間歩いている。
- ・震災の時間の経過とともにニーズが変わってきている。今は災害ごみの撤去のボランティアが必要。
- ・家の取り壊しの申請をしているがなかなか順番が回ってこない。判定基準が分からず、自分より後から申請した人が先に対応されていてヤキモキしてしまう。

■ボランティアの所感（主なもの）

- ・コーヒーをお代わりして長く滞在される方が増えた。仕事の休憩に利用したり、友人と待ち合わせて一緒にいらしたり、遠方からわざわざサロンに来てくださる方もいて定着しつつあるのを感じた。
- ・お昼を一人で食べている方もいるので、時間を早めて開催してはどうだろうか。
- ・穴水音頭など皆で一緒に踊ったり歌ったりする場を今後のサロン活動に取り入れてもいいと思う。

